

横浜みなとみらいホールのオルガン“ルーシー”

大ホールの舞台正面に設置されているオルガンは、アメリカのC.B.フィスク社製。輝くような明るい音色にふさわしく「光」を意味する“ルーシー”という愛称のついた、横浜みなとみらいホールのシンボルです。正面のケースには、横浜にちなんだカモメの彫刻が施されています。パイプは全部で4,623本。正面に見えているパイプのほかに、内部には様々な材質や形、大きさのパイプがびっしり並んでいます。音色を選ぶストップは62個。鉄琴のような音を奏でる「チェレスタ」や、鈴を組み合わせた「ツィンベルシュテルン」、鳥の鳴き声に似た「ナイチンゲール」といった音色もあります。さらに「メモリー」というコンピューターを内蔵し、約2,000種類の音色の組み合わせ（レジストレーション）を記憶することができます。このメモリーによって、一人でも幅広い演奏を行うことができます。